

令和5年度 教育指導重点目標

1 校訓

至誠・自立・識見

2 学校教育目標

校訓を拠に、志をもって広く学び、たくましく生き抜く力と豊かな人間性を培い、公共のために尽くす生徒を育成する。また、百年を超える伝統に誇りを持ち、生徒が自らを高め、人のために生き、愛される存在となる生徒を育成する。

3 本校の教育指導重点目標

(1) 主体的協働的に学ぶ生徒の育成と人間力の向上

充実したICT機器の活用、アクティブ・ラーニング型授業の実践などを一層推進し、確かな基礎・基本を土台とした「主体的・対話的で深い学び」を身に付けた生徒を育成する。また、高い倫理観を持ち、異なる個性や生き方、考え方及び価値観を互いに認め合うことで、人を思いやり、自他を敬愛し、尊重する人権教育の充実を図る。

(2) 課題解決力の育成と将来を見据えた進路の完全実現

課題を見付け、解決策を考え、他者へ伝える能力を身に付けさせる課題研究等や小論文指導を推進し、生徒一人ひとりに将来の「夢」を抱かせ、それを実現させる筑紫中央型キャリア教育を発展させることで、社会で生き抜く力を持った、郷土、日本、世界を知るグローバル人材を育成する。

(3) 規律ある生活習慣の定着と感動体験の重視による豊かな心の醸成

百年を越える歴史に培われた学校文化を継承し、校訓に基づく「至誠」の心を育むとともに、社会生活の基盤となる生活習慣や規律を主体的に確立させ、生徒会活動や学校行事等の特別活動、部活動を通じた感動体験を契機として、自尊感情を高める。

4 令和5年(2023年)度教育指導の重点

(1) 主体的協働的に学ぶ生徒の育成と人間力の向上

(ア) ICTを活用したオンライン学習やアクティブ・ラーニング型授業をハイブリッドで実践し、個々の生徒に応じた魅力ある授業を展開する。また、授業力向上のための研修を充実する。

(イ) 個々の生徒のよい点や進歩の状況などを積極的に評価する多面的評価を行い、生徒の自己肯定感を高める。

(ウ) 自分と異なる個性や生き方、価値観等を認め合い、「いじめ」等の人権侵害を撲滅する。

(2) 課題解決力の育成と将来を見据えた進路の完全実現

(ア) 5年後、10年後、50年後を見据えた生徒一人ひとりの多様な進路希望を完全実現するために必要な取組やスキルの一層の向上を図る。

(イ) 充実した課題研究や小論文指導をとおして社会的・職業的自立に必要な能力を育成するとともに、夢や希望をもって学び、強い意志をもって進路実現を図ろうとする態度を養う。

(ウ) 国内・海外語学研修等を通じて国際理解教育などグローバルな視野を持った生徒の育成を図る。

(3) 規律ある生活習慣の定着と感動体験の重視による豊かな心の醸成

(ア) 「18歳成年」を踏まえ、社会生活の基盤となる生活習慣や規律等を生徒自ら創造し、社会生活に必要なとされる規則やマナーを遵守する態度を養うとともに公共の精神を涵養する。

(イ) 生徒が主体となって取り組む生徒会活動や学校行事、部活動のさらなる充実を図り、自己指導能力を高めるとともに自主性、主体性、チャレンジ精神を育む。

(ウ) 大野城市との連携を強化し、総合的な探究の時間やボランティア活動で地域と連携した取り組みを行う。